

## ◎広報・図書委員会

委員長 小山 一夫

### 1. 平成17年度運営目標・方針

広報では、広報マインドを全教職員に醸成するとともに、広報を一元管理し、新居浜工業高等専門学校を強くアピールする。広報対象に応じた効果的な広報に心がけ、マスコミ等に積極的に情報提供を行う。

図書では、図書教育を活性化し読書活動を推進する。また、電子ジャーナルのいっそうの充実および教育への活用を図る。

昨年度に引き続き効率化した委員会構成で委員会業務を実施した。広報マインドの全教職員への浸透を継続施策とした。その結果、各部門において活発な広報活動が行われた。

図書では、学生利用の活性化を第一に掲げ諸施策を実施したがこの数年の利用増傾向が維持できなかった。年度末にその反省を踏まえ、新しい図書教育活性化アクションプランを策定し、実行に移した。電子ジャーナルの利用環境は昨年度整え、今年度はさらに充実させた。今年度は利用促進、特に教育への利用促進を図った。

### 2. 平成17年度実施計画

#### 2. 1 ホームページ

ホームページ・トップページをユーザーを峻別し、ユーザーごとにみやすく有用な情報を発信するよう絶えず更新する。各リンクページについては積極的に改善提案をしてゆく。携帯サイトも設置する。

各部門の更新を促し実行した。緊急連絡用携帯サイトを立ち上げ、また、メールマガジンの発行準備をおこなった。

#### 2. 2 学校案内およびその他印刷物

学校案内の編集方針を定め発刊する。その他広報関係印刷物について各主管元に改善提案してゆく。

学校案内は、昨年同様早めに発刊した。また、その他広報関係印刷物について適宜改善提案した。

#### 2. 3 全般的な広報活動

中学校訪問、各中学校における中学3年生とその保護者に対する学校説明会等に対して各主管元に改善提案してゆく

教務委員会が主管となって実行してゆく中、適宜改善提案した。

#### 2. 4 図書の活性化

##### [1] 学生図書活動の支援

読書感想コンクールの発展企画、ブックハンティングの充実、図書館ホームページコンテストの継続、図書館便りの発行

##### [2] 学級単位の図書活動

学級単位での競争による学生図書活動の活性化（1月に優秀学級表彰を行う）

および学級毎の利用統計 (monthly レポート)

特活での図書館利用促進

卒業研究対象に、電子ジャーナル利用オリエンテーション実施 (卒業研究指導  
教員に依頼)

[3] 図書 of 充実

図書蒐集方針を明確化し図書を計画的に充実する。

学生向け図書紹介活動の強化

[4] 図書利用サービスの充実と外部利用の促進

読書感想文コンクール, 図書館ホームページコンテスト, 2回のブックハンティング,  
クラス単位の図書利用コンクール等を行い, 学生図書利用の活性化を計ったが, 残念ながら  
この数年の図書利用増加傾向が止まった。この状況を反省して, 年度末~新年度の図書  
館利用教育促進のアクションプランを策定し, 実施中。

2. 5 研究成果の発信

年間業務成果報告、新紀要の発刊

H16年度年間業務成果報告, 新居浜工業高等専門学校紀要第42巻をそれぞれ発刊し  
た。

2. 6 電子ジャーナルの推進

電子ジャーナルのいっそうの整備と利用拡大を図る

高専一の利用環境を維持する一方, 教育への利用促進, 特に卒業研究, 特別研究への利  
用を促した。